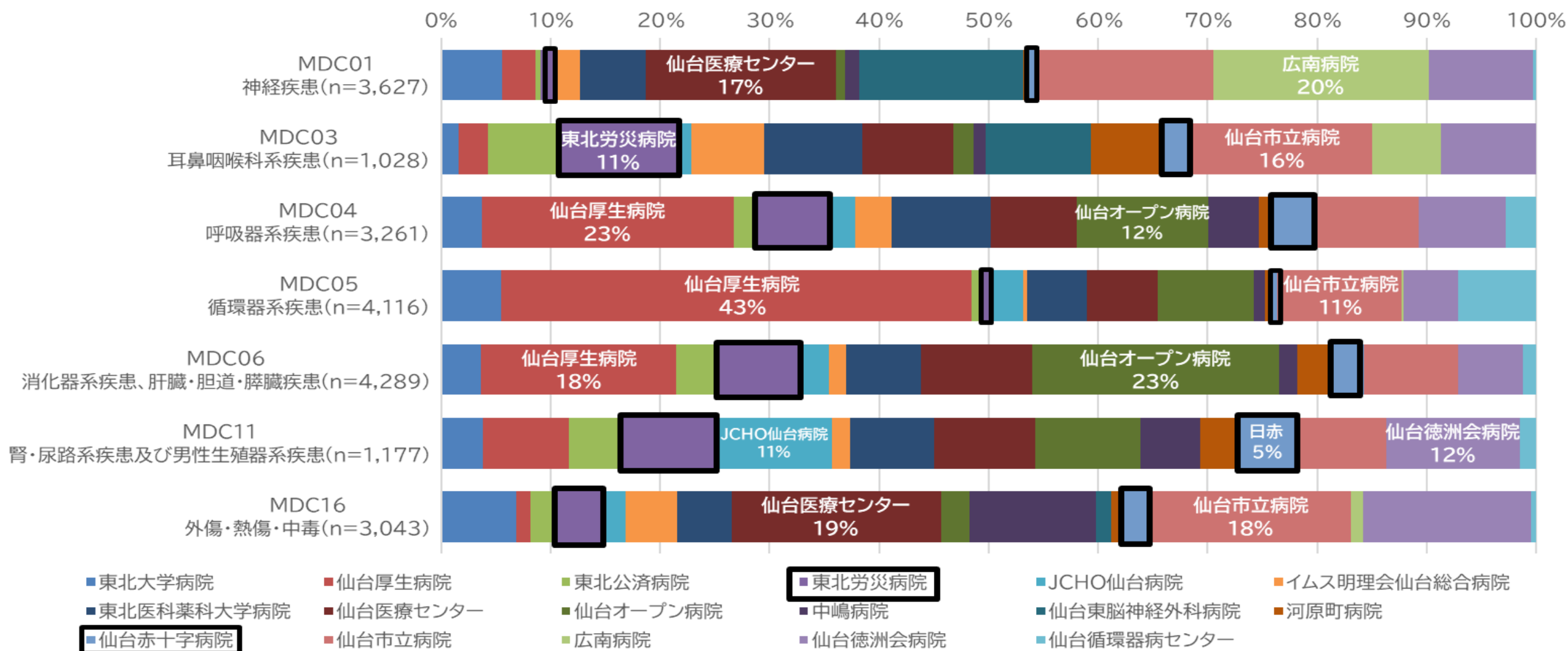


診療分野ごとの救急車による搬送受入状況について

1 救急車による搬送受入の割合(MDC別)

○下記のグラフは、診療分野ごとに各医療機関の救急搬送の受入状況をまとめたもの。
○元となるデータは、令和元年度に厚生労働省が実施した「DPC導入の影響評価に係る調査『退院患者調査』」のうち、「救急車による搬送の有無の医療機関別MDC別集計」を用いている。
○そのうち、受入件数が1,000件以上のMDCを取り上げ、医療機関については、仙台市内で、トータル300件以上受け入れている救急告示病院を採用した。
○なお、上記の調査では「①救急搬送されたが入院に至らなかった場合 ②一般病棟以外の病棟への移動があった場合」などが含まれない。

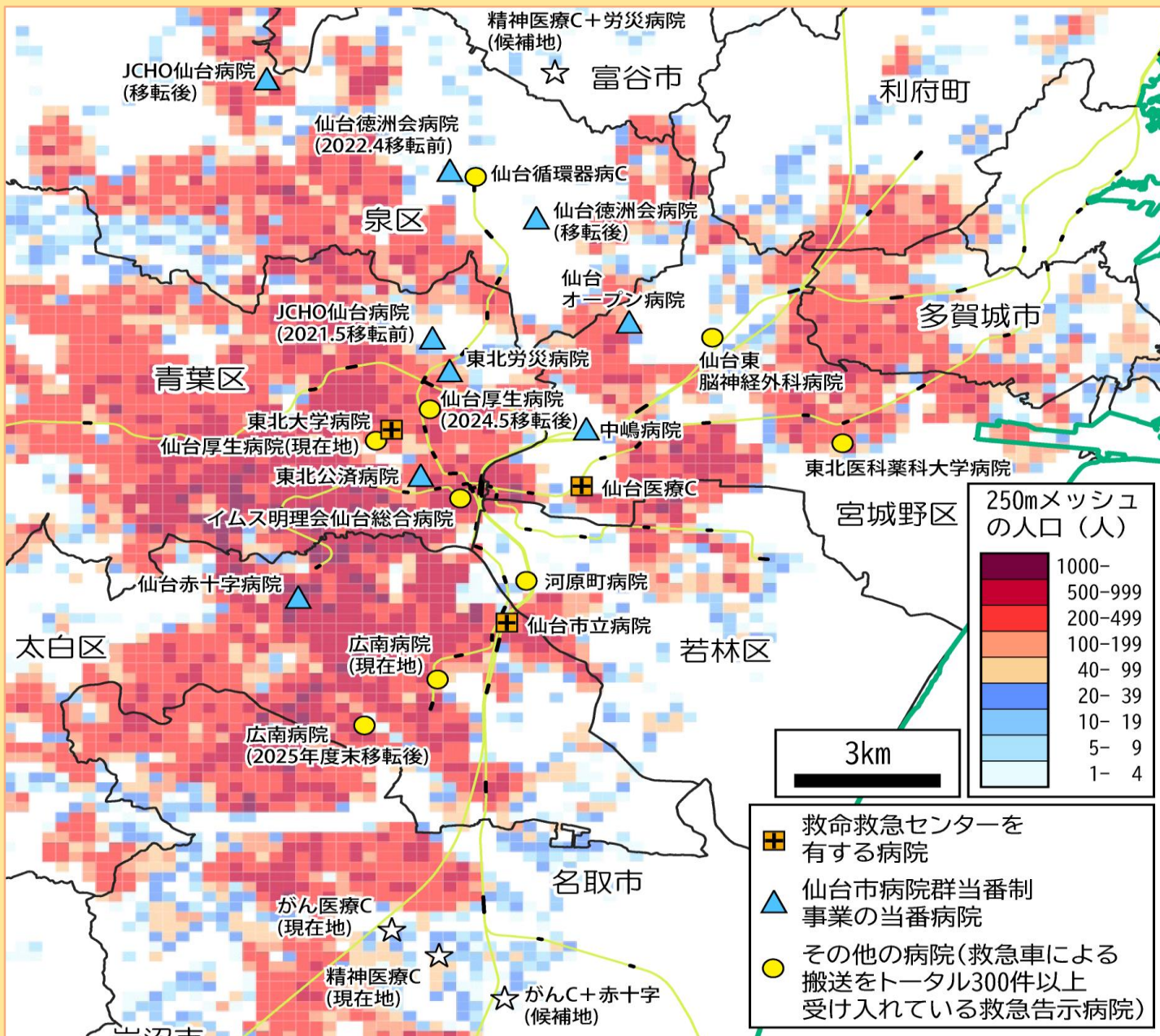
図 救急車による搬送受入の割合(MDC別)



2 病院移転の場合の影響について

○前記のデータを基に、仮に東北労災病院及び仙台赤十字病院(以下「2病院」という。)が市外に移転した場合、市内主要病院における救急受入件数にどの程度の影響が生じるかを概括的に把握するため、MDC別の2病院の受入件数を各病院の受入件数に応じて按分計算した。

※本来、移転により生じる、市内から市外へ、あるいは市外から市内への搬送に係る受入への影響も考慮する必要があるが、移転後の病院の規模や機能が判明していない現段階で、また、本データには搬送元の情報がない中で、その動向を見込むことは困難であることから、今回の試算は、市内の病院のみで2病院の受入をカバーすることを前提としている。



【試算の結果】

➤ 2病院の移転により他医療機関に生じる疾患別の救急について、実数ベースでは、MDC04(呼吸器系疾患、2病院計370件/年)、MDC06(消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患、2病院計484件/年)、MDC16(外傷・熱傷・中毒、2病院計243件/年)について、特に影響が大きいと考えられる。

	東北労災病院の件数	仙台赤十字病院の件数	2病院の合計シェア	他病院の増加率	他病院の件数増の幅
MDC04 呼吸器系疾患(n=3,261)	227件	143件	11%	13%	5~96件
MDC06 消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患(n=4,289)	345件	139件	11%	13%	7~123件
MDC16 外傷・熱傷・中毒(n=3,043)	150件	93件	8%	9%	1~50件

➤ また、2病院の合計シェアが高いMDC03(耳鼻咽喉科系疾患、2病院計141件/年、シェア14%)、MDC11(腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患、2病院計160件/年、シェア14%)について、他の病院の増加の率が全体的に高くなると試算されるため、留意が必要であると考えられる。